
富山市民意識調査結果報告書
《概要版》

平成 30 年 12 月

富 山 市

目 次

1. 調査の概要	1
2. 富山市の住み良さ	2
① 富山市の住み心地	
② 富山市への定住意識	
③ 富山市に住み続けたい理由	
④ 富山市外へ引っ越したい理由	
3. 施策の満足度	8
4. 今後のまちづくりの重点	14
5. 市民の普段の取り組み	15
6. 富山市の印象	16
7. あなたの生活	17

この冊子のみかた

- ・ 比率はすべて百分率で表示し、小数第 2 位を四捨五入して算出しているため、個々の比率の合計と全体を示す数値とは一致しない場合がある。
- ・ 複数回答の場合は、比率の合計が 100%を上回る。
- ・ N は各質問に対する回答者総数であり、比率算出の基数である。
- ・ 「H27 年調査」及び「H25 年調査」とは、それぞれ平成 27 年度及び平成 25 年度に実施した富山市民意識調査の結果を示す。

1

調査の概要

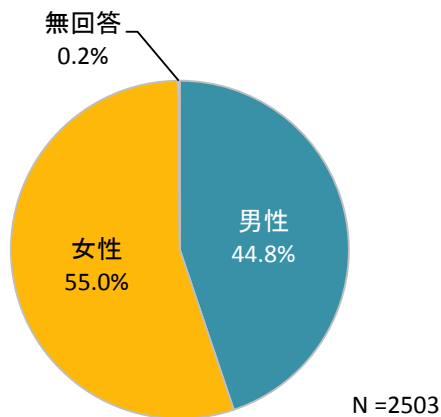
富山市は、市の将来像やまちづくりの指針となる『総合計画』を策定し、その施策の推進に努めています。

この意識調査は、市民の皆様へ、施策の満足度や市政への要望などについてのお考えやご意見をお伺いし、今後の総合計画や市政の推進に反映させていくことを目的に実施しました。

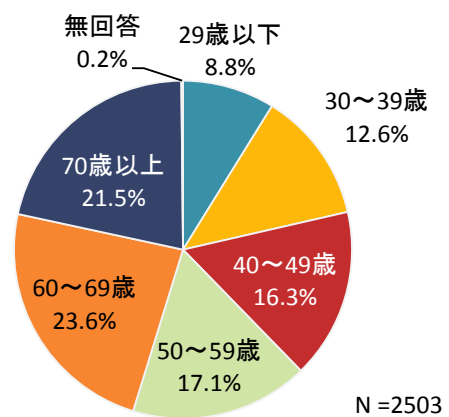
無作為に抽出した18歳以上の市民の皆様6,000人に依頼し、2,503人、41.7%の方から回答をいただきました。ご回答いただいた方の内訳は次のとおりです。

調査回答者内訳

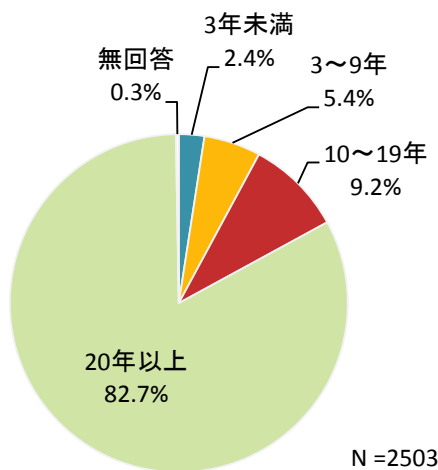
【性別】



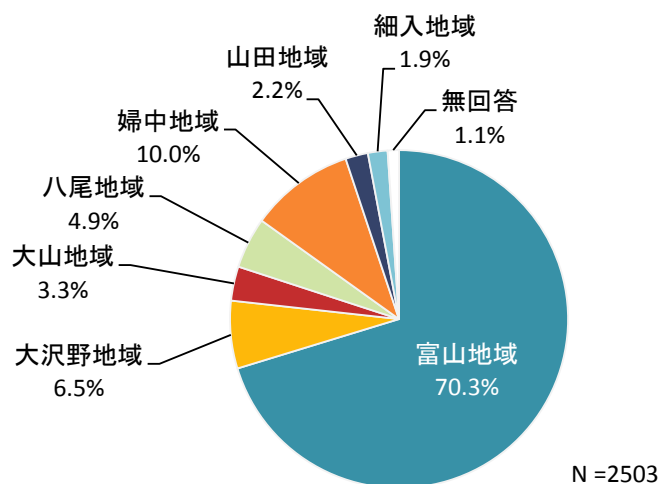
【年齢別】



【居住年数別】



【居住地域別】



2

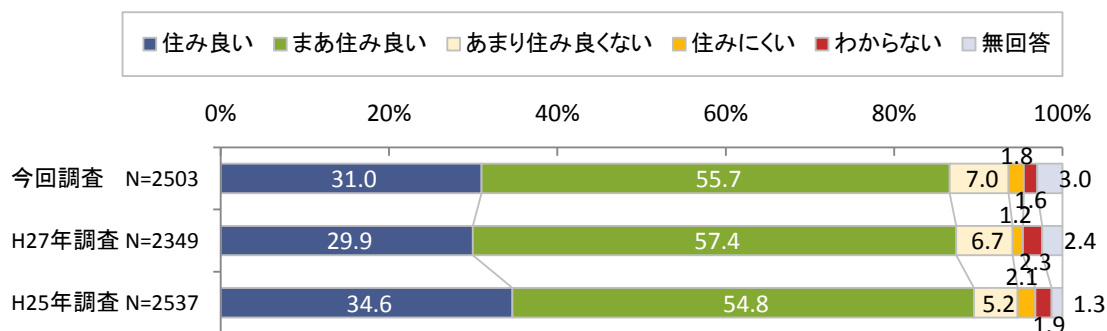
富山市の住み良さ

① 富山市の住み心地

●9割近くの人が「住み良い」「まあ住み良い」と感じている

平成25年調査からの変化について見ると、「住み良い」「まあ住み良い」を合わせた割合は、いずれも9割弱と大きな変動はないものの、その割合は減少傾向となっています。今回「住み良い」と回答した割合は、平成27年調査を1.1ポイント上回っています。

【富山市の住み心地<全体・経年変化>】

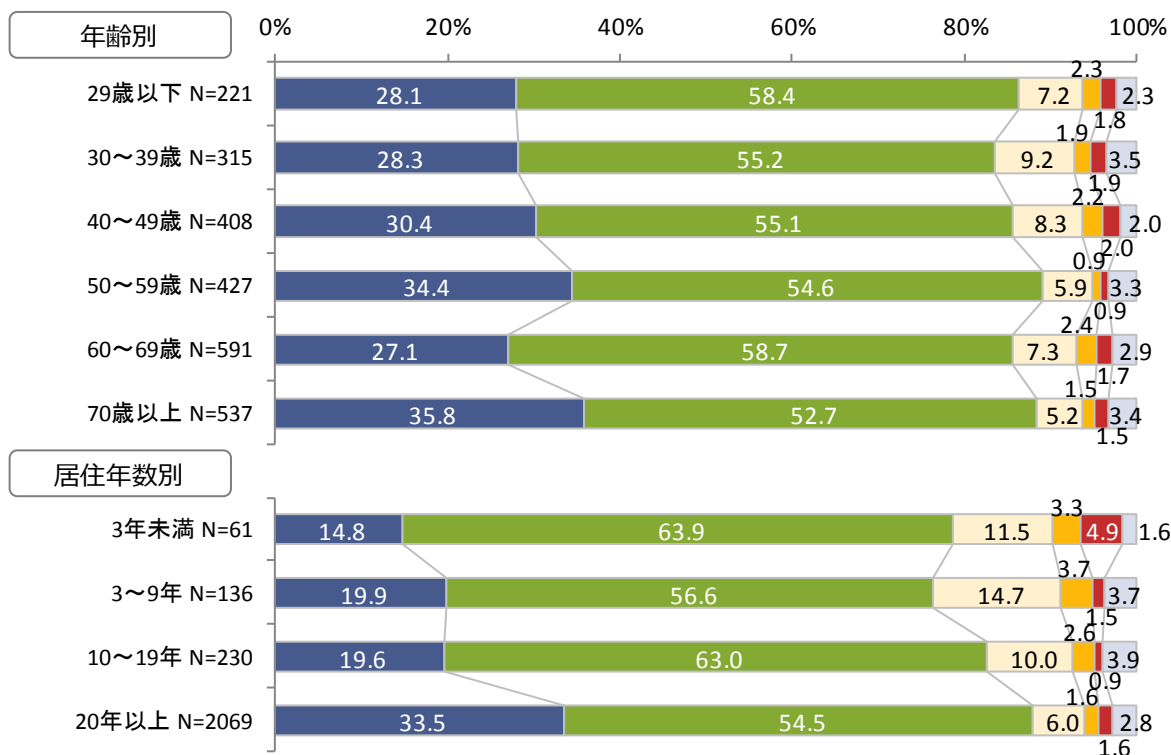


●長く住んでいる人ほど「住み良い」「まあ住み良い」と感じている

年齢別に「住み良い」または「まあ住み良い」と回答した割合を見ると、50歳代が最も高く、子育て世代の30歳代が最も低くなっています。

居住年数別に見ると、10年以上居住している人で「住み良い」「まあ住み良い」と回答した割合が高く、合わせて8割を超えています。一方、3～9年の人の2割近くが「あまり住み良くない」「住みにくい」と感じています。

【富山市の住み心地<年齢別・居住年数別>】

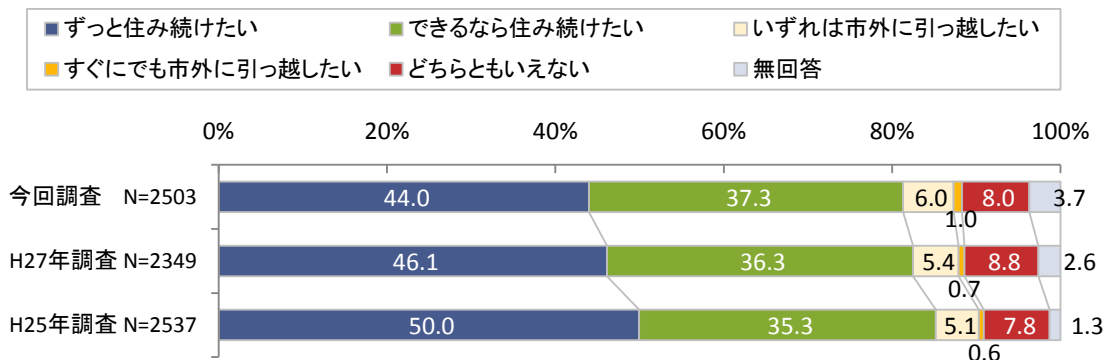


② 富山市への定住意識

●8割以上が「ずっと住み続けたい」「できるなら住み続けたい」と回答

平成25年調査から一貫して8割以上が、今後も富山市に「ずっと住み続けたい」または「できるなら住み続けたい」と回答しているものの、その割合は減少傾向となっています。今回「ずっと住み続けたい」と回答した割合は、平成27年調査を2.1ポイント下回っています。

【富山市への定住意識＜全体・経年変化＞】

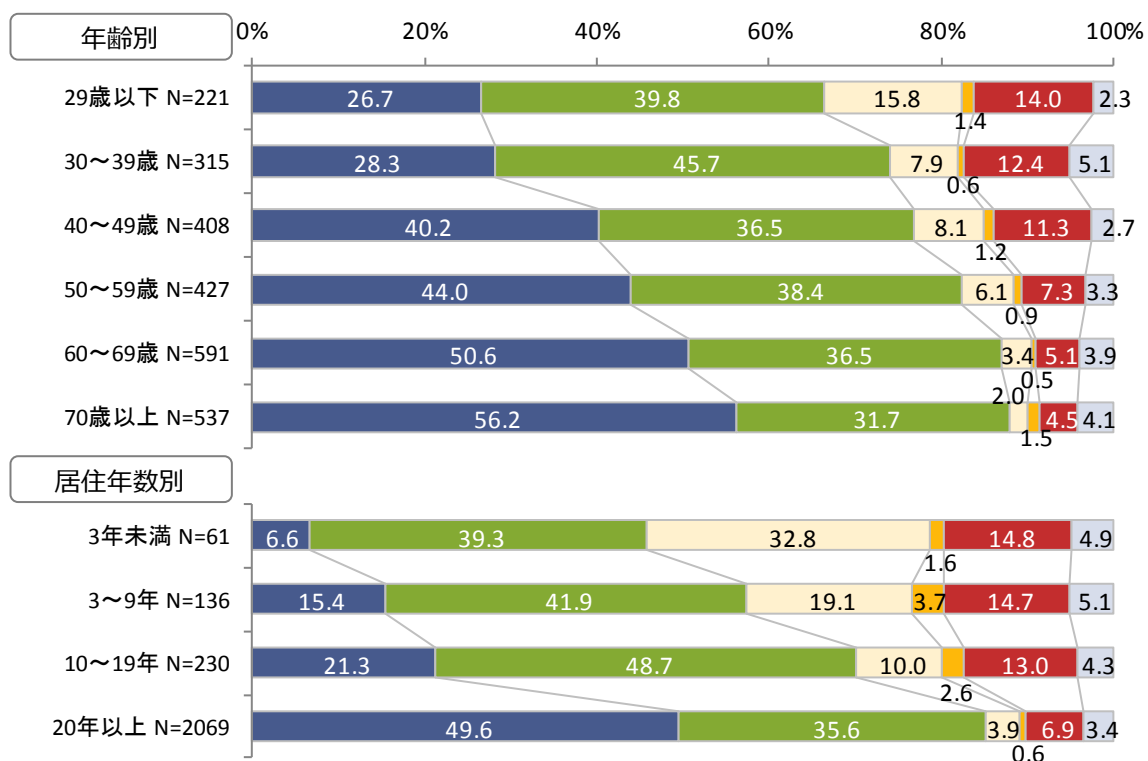


●長く住んでいる人ほど定住意識も強い

年齢別に「ずっと住み続けたい」または「できるなら住み続けたい」と回答した割合を見ると、年齢が上がるほど高い傾向にあります。また、29歳以下の若い世代で「いずれは市外に引っ越したい」と回答した割合が1割を超えています。

居住年数別に見ると、居住年数が長いほど「ずっと住み続けたい」と考える割合も高く、富山市に20年以上住み続けている人と3年未満の人の間には43.0ポイントの差が見られます。

【富山市への定住意識＜年齢別・居住年数別＞】



③ 富山市に住み続けたい理由

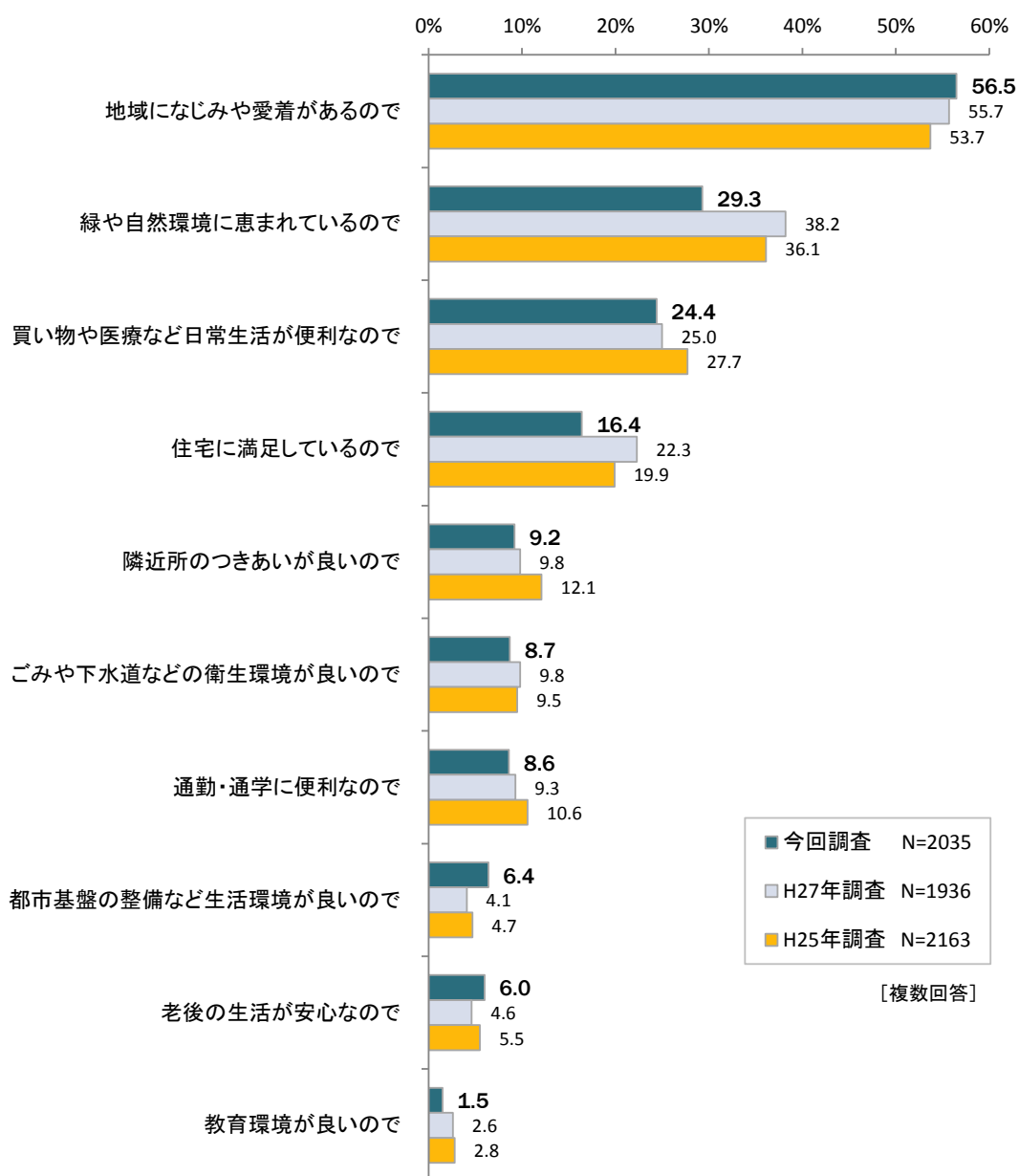
(P3 ②の質問で、「ずっと住み続けたい」「できるなら住み続けたい」と回答した方にお伺いしました)

●「地域へのなじみや愛着」が定住意識を高めている

住み続けたい理由としては、平成 25 年調査時より一貫して「地域になじみや愛着があるので」が最も高く、その割合は増加傾向となっています。

以下「緑や自然環境に恵まれているので」「買い物や医療など日常生活が便利なので」「住宅に満足しているのでは」の順位に変動はありませんが、「緑や自然環境に恵まれているので」の回答は 8.9 ポイント、「住宅に満足しているのでは」は 5.9 ポイント平成 27 年調査を下回っています。

【富山市に住み続けたい理由<全体・経年変化>】



*「その他」及び無回答は表示していない

●居住年数が短いちは「自然環境の良さ」や「日常生活の便利さ」を重視

年齢別に見ると、いずれの年代も「地域になじみや愛着があるのでは」との理由が最も割合が高いですが、「通勤・通学に便利なので」については30歳代・40歳代の回答割合が比較的高くなっています。「隣近所のつきあいが良いので」や「ごみや下水道などの衛生環境が良いので」については60歳代以上の回答割合が比較的高く、全体を上回っています。

居住年数別に見ると、居住年数が長い10年以上の人で「地域になじみや愛着があるのでは」とする割合が高くなっています。一方、9年以下の人では、愛着は比較的高くないものの、「緑や自然環境に恵まれているので」（3年未満）や「買い物や医療など日常生活が便利なので」（3～9年）が全体を大きく上回り、これらが富山市の魅力となっていることがうかがえます。

【富山市に住み続けたい理由＜年齢別・居住年数別＞】

	回答者数（人）	あ 地 域 に な じ み や 愛 着 が	い 緑 や 自 然 環 境 に 恵 ま れ て	日 常 的 な 生 活 や 医 療 な ど が 便 利 な の で	住 宅 に 満 足 し て い る の で	良 隣 近 所 の つ き あ い が	衛 生 環 境 が 良 い の で	ご み や 下 水 道 な ど の	通 勤 ・ 通 学 に 便 利 な の で	生 活 環 境 が 良 い の で	都 市 基 盤 の 整 備 な ど	老 後 の 生 活 が 安 心 な の で	教 育 環 境 が 良 い の で	そ の 他	無 回 答	
全体	2,035	56.5	29.3	24.4	16.4	9.2	8.7	8.6	6.4	6.0	1.5	6.5	2.7			
＜年齢別＞																
29歳以下	147	61.9	34.0	21.1	9.5	3.4	7.5	10.2	6.8	2.0	3.4	6.8	3.4			
30～39歳	233	54.1	24.9	21.5	18.9	6.4	6.0	21.0	4.7	1.7	3.9	6.0	4.3			
40～49歳	313	58.1	31.0	20.8	16.6	6.1	4.8	15.0	7.7	1.3	3.5	8.9	2.2			
50～59歳	352	55.7	30.7	21.3	17.9	6.5	4.0	11.6	6.8	4.5	0.9	9.1	2.8			
60～69歳	515	57.1	30.1	25.4	16.7	13.0	11.3	2.3	4.9	7.4	0.2	6.0	2.1			
70歳以上	472	54.9	27.3	29.9	15.7	12.5	13.8	2.5	7.6	12.1	0.4	3.8	2.5			
＜居住年数別＞																
3年未満	28	28.6	50.0	21.4	10.7	3.6	14.3	21.4	10.7	3.6	-	14.3	-			
3～9年	78	26.9	23.1	37.2	26.9	5.1	5.1	24.4	6.4	3.8	7.7	3.8	5.1			
10～19年	161	37.3	27.3	34.2	17.4	7.5	5.6	16.1	9.9	3.1	5.6	4.3	4.3			
20年以上	1,762	60.1	29.5	22.8	15.9	9.7	9.0	7.1	6.0	6.4	0.9	6.8	2.5			

 は、各属性 第1位の回答

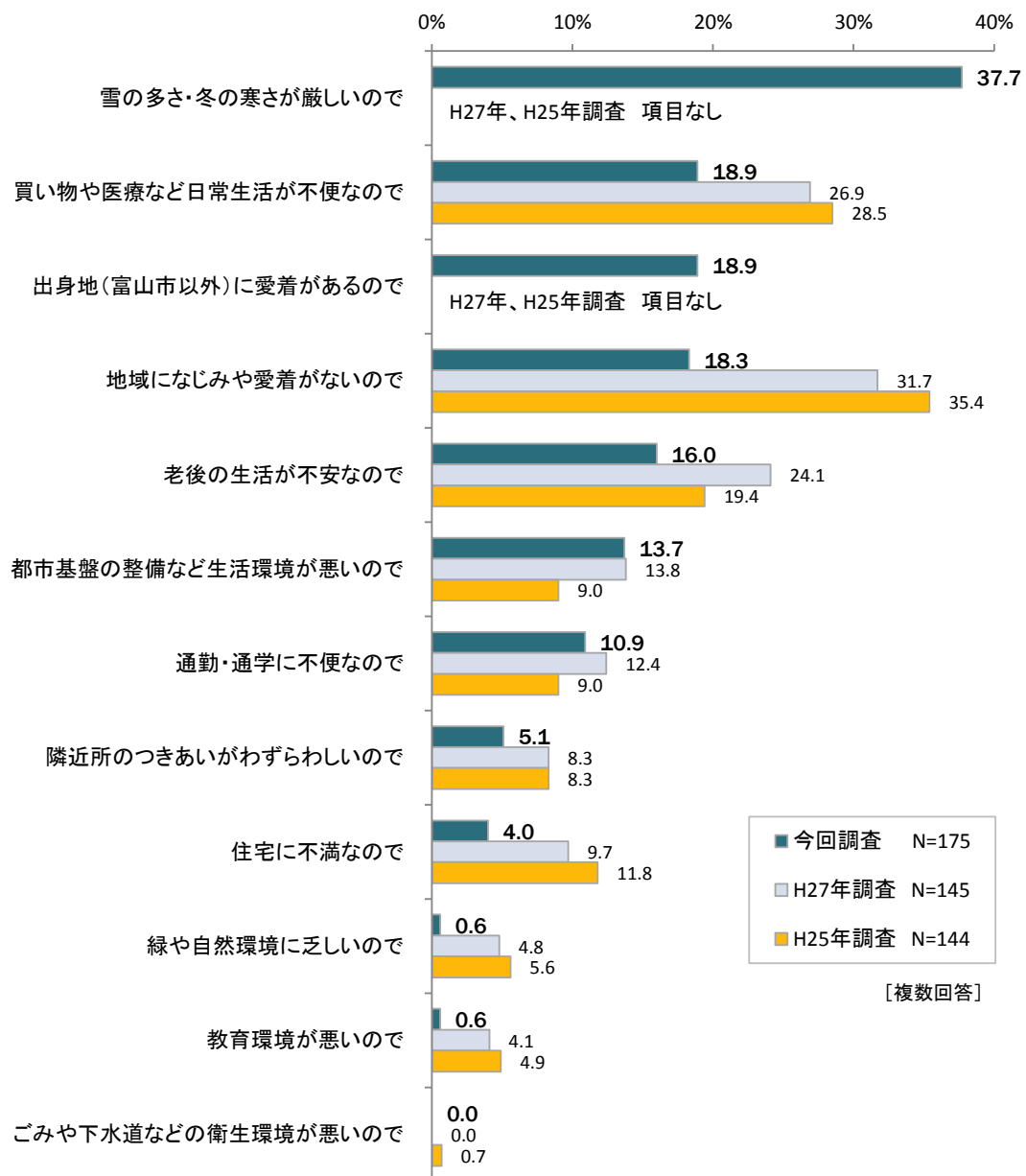
④ 富山市外へ引っ越したい理由

(P3 ②の質問で、「いずれは市外に引っ越したい」「すぐにでも市外に引っ越したい」と回答した方にお伺いしました)

●「冬の厳しさ」が引っ越したい第一の理由

引っ越したい理由としては、「雪の多さ・冬の寒さが厳しいので」が最も高く、平成 27 年調査、平成 25 年調査時に 1 位であった「地域になじみや愛着がないので」は、今回 4 位になっています。

【富山市外へ引っ越したい理由<全体・経年変化>】



*「その他」及び無回答は表示していない

●子育て世代は「出身地（富山市以外）に愛着」、高齢者は「買い物や医療など日常生活が不便」

年齢別に見ると、「雪の多さ・冬の寒さが厳しいので」は広い世代から回答を集めています。30～40歳代では「出身地（富山市以外）に愛着があるので」「地域になじみや愛着がないので」と回答する人の割合が高い傾向があり、70歳以上では「買い物や医療など日常生活が不便なので」と回答する人の割合が最も高くなっています。

居住年数別に見ると、「雪の多さ・冬の寒さが厳しいので」は居住年数にかかわらず割合が高く、9年以下では「出身地（富山市以外）に愛着があるので」「地域になじみや愛着がないので」と回答する人の割合が高くなっています。

【富山市外へ引っ越したい理由＜年齢別・居住年数別＞】

	回答者数（人）	雪の多さ・冬の寒さが厳しいので	日常生活や医療などで買い物や医療など	出身地（富山市以外）に愛着があるので	地域になじみや愛着がないので	老後の生活が不安なので	都市基盤の整備など生活環境が悪いので	通勤・通学に不便なので	隣近所のつきあいがわずらわしいので	住宅に不満なので	緑や自然環境に乏しいので	教育環境が悪いので	衛生環境が悪いので	ごみや下水道などの	その他	無回答
全体	175	37.7	18.9	18.9	18.3	16.0	13.7	10.9	5.1	4.0	0.6	0.6	-	18.3	6.3	
＜年齢別＞																
29歳以下	38	39.5	21.1	13.2	13.2	5.3	7.9	13.2	2.6	2.6	2.6	2.6	-	26.3	2.6	
30～39歳	27	44.4	14.8	25.9	33.3	7.4	3.7	14.8	7.4	3.7	-	-	-	18.5	3.7	
40～49歳	38	34.2	13.2	23.7	21.1	23.7	21.1	10.5	-	7.9	-	-	-	10.5	5.3	
50～59歳	30	43.3	13.3	16.7	13.3	20.0	16.7	6.7	10.0	-	-	-	-	30.0	6.7	
60～69歳	23	39.1	21.7	4.3	13.0	17.4	21.7	17.4	8.7	8.7	-	-	-	4.3	13.0	
70歳以上	19	21.1	36.8	31.6	15.8	26.3	10.5	-	5.3	-	-	-	-	15.8	10.5	
＜居住年数別＞																
3年未満	21	38.1	28.6	28.6	33.3	9.5	4.8	14.3	4.8	-	-	-	-	9.5	-	
3～9年	31	38.7	6.5	38.7	32.3	6.5	9.7	9.7	6.5	-	-	-	-	16.1	6.5	
10～19年	29	41.4	6.9	17.2	13.8	6.9	17.2	17.2	-	3.4	-	3.4	-	13.8	10.3	
20年以上	94	36.2	24.5	10.6	11.7	23.4	16.0	8.5	6.4	6.4	1.1	-	-	22.3	6.4	

□ は、各属性 第1位の回答

3 施策の満足度

富山市では4つの“まちづくりの目標”のもと、51の施策を設定して第2次富山市総合計画を推進しています。この51の施策について、市民の皆様の満足度をお尋ねしました。

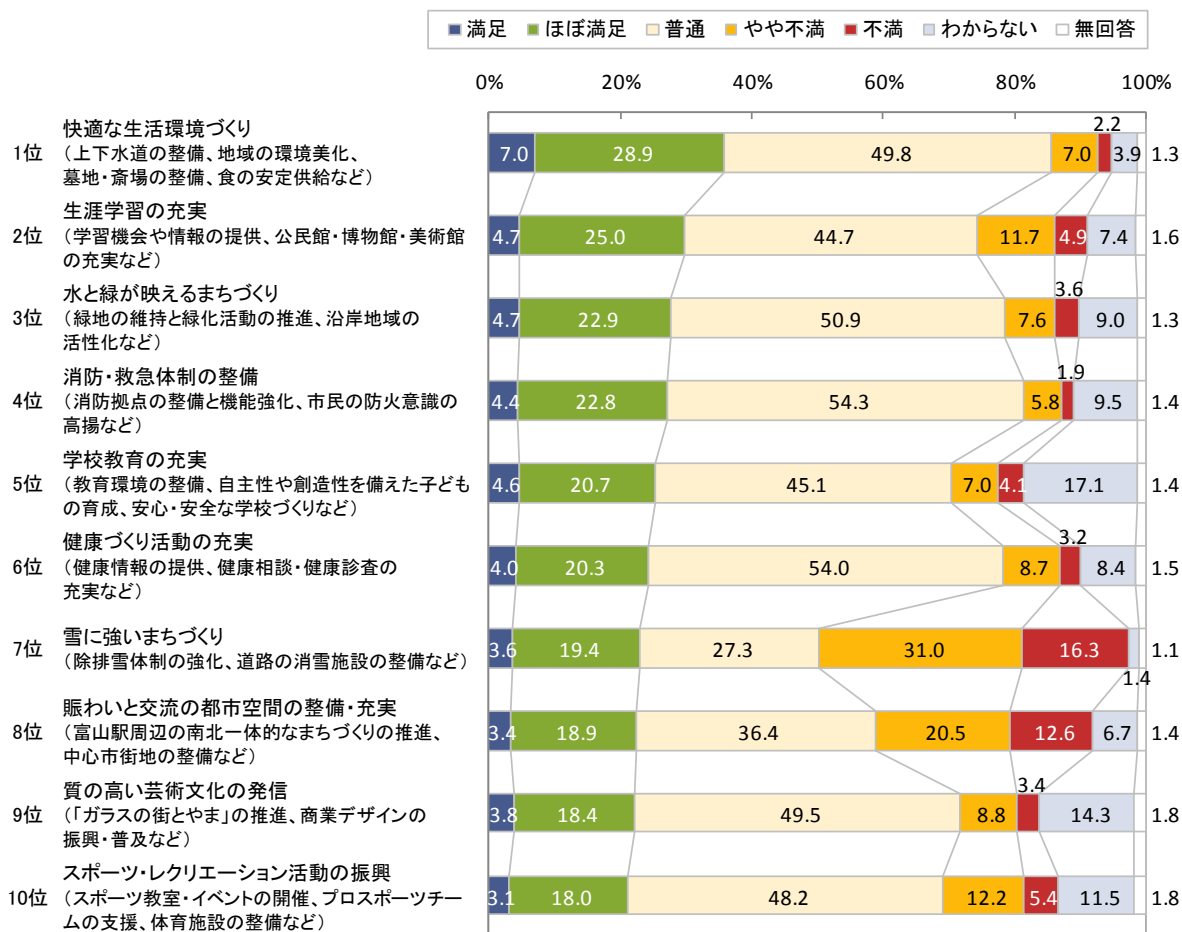
回答は6段階（満足—ほぼ満足—普通—やや不満—不満—わからない）ですが、ここではそのうちの「満足」と「ほぼ満足」を合わせて『満足』、「やや不満」と「不満」を合わせて『不満』として順位をつけました。そのうち、10位以内の項目は次のとおりです。

●「快適な生活環境」「生涯学習の充実」に満足

『満足』の割合が高い施策について見ると、「快適な生活環境づくり」が最も高く、次いで「生涯学習の充実」、「水と緑が映えるまちづくり」となっています。

7位の「雪に強いまちづくり」、8位の「賑わいと交流の都市空間の整備・充実」は『満足』の上位に入っているものの、『不満』の割合のほうが高くなっています。

【『満足』（満足+ほぼ満足）：10位以内<全体>】

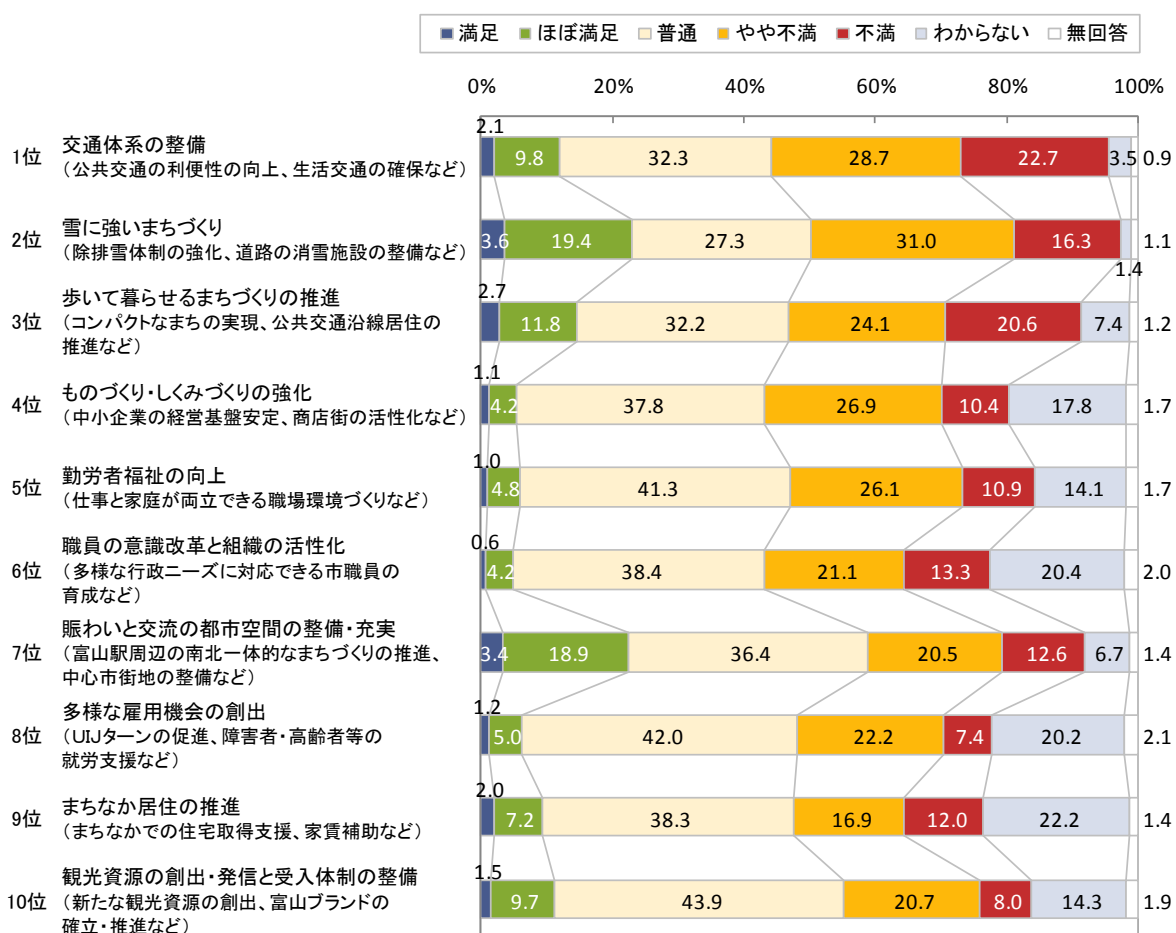


●「交通体系」「雪対策」に不満

『不満』の割合が高い施策について見ると、「交通体系の整備」が最も高く、次いで「雪に強いまちづくり」となっています。

また、「勤労者福祉の向上」「多様な雇用機会の創出」など、女性や高齢者、若者などをはじめとした人々の就労環境などに関する施策が上位に挙がっています。

【『不満』（不満＋やや不満）：10位以内＜全体＞】



◇ 居住地域別『満足』『不満』— 10位以内 —

●地域の特性が表れる施策の満足度

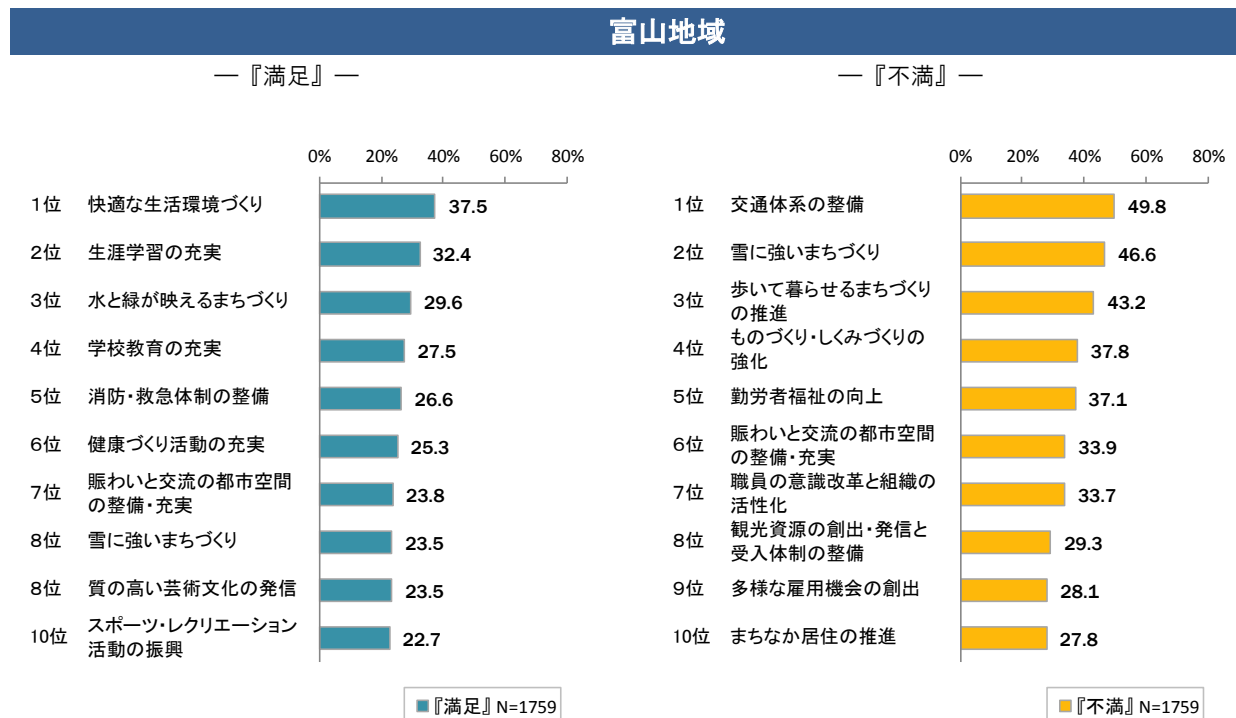
『満足』について見ると、全体で1位の「快適な生活環境づくり」が全ての地域においてそれぞれ1位か2位に挙げられています。全体で2位の「生涯学習の充実」については地域によって異なります。

『不満』について見ると、全体で1位の「交通体系の整備」が全ての地域においてそれぞれ1位か2位に挙げられており、全体で2位の「雪に強いまちづくり」が細入地域以外の地域で上位に挙げられています。

地域別の特徴を見ると、大沢野・大山・八尾・細入地域では、「出産・子育て環境の充実」が『満足』にランクインしており、一方、富山・婦中地域以外の5地域で、「中山間地域の振興」が、大山・八尾・山田・細入地域で「地域の生活拠点の整備」がそれぞれ『不満』にランクインしています。

富山・婦中地域と他の5地域とでは、施策の満足度合いに違いが見られます。

【『満足』（満足+ほぼ満足）/『不満』（不満+やや不満）：10位以内<居住地域別>】

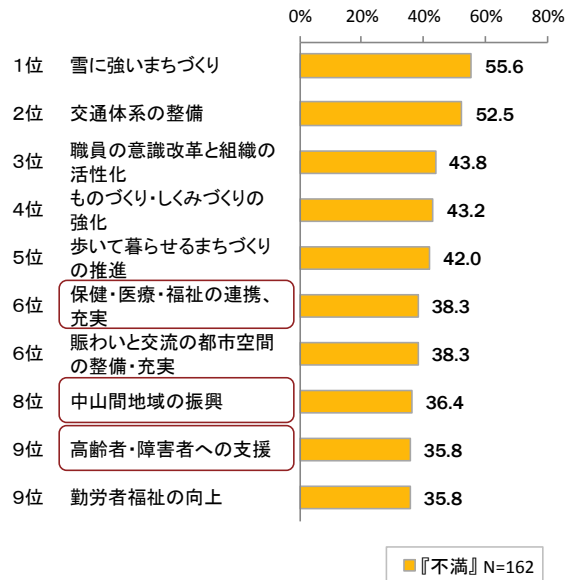
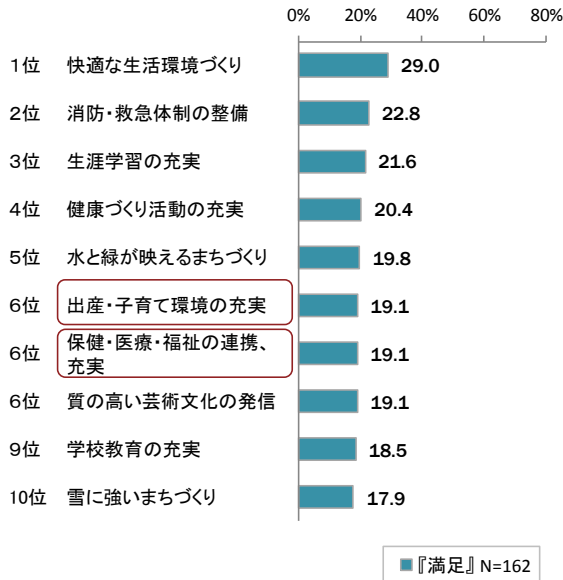


全体の10位以内に含まれないもの

大沢野地域

— 『満足』 —

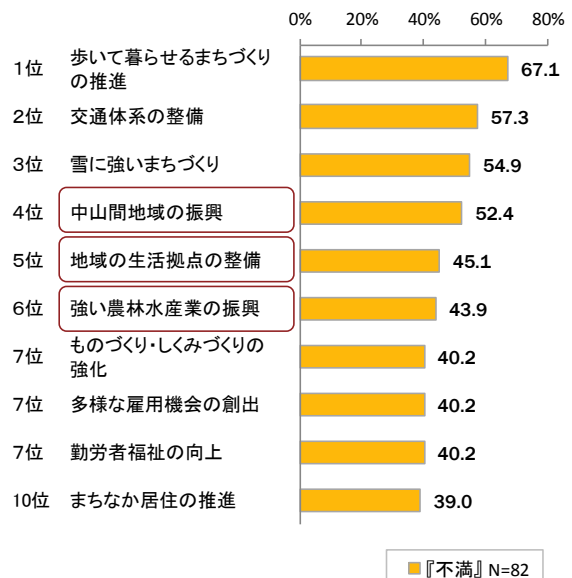
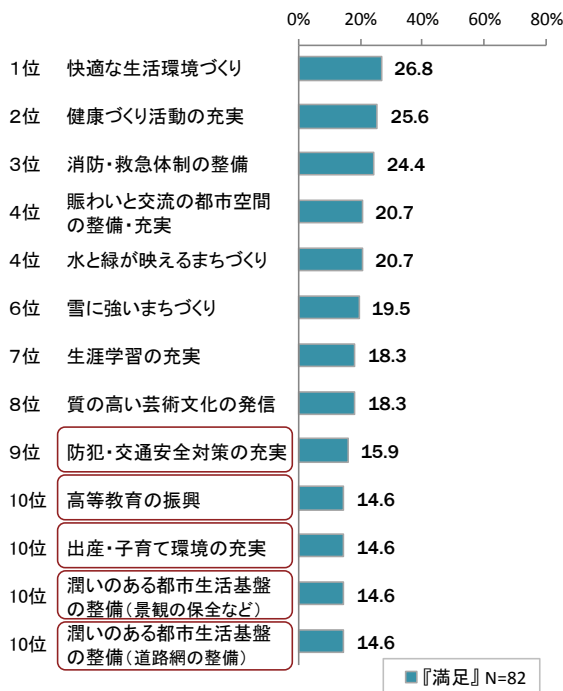
— 『不満』 —



大山地域

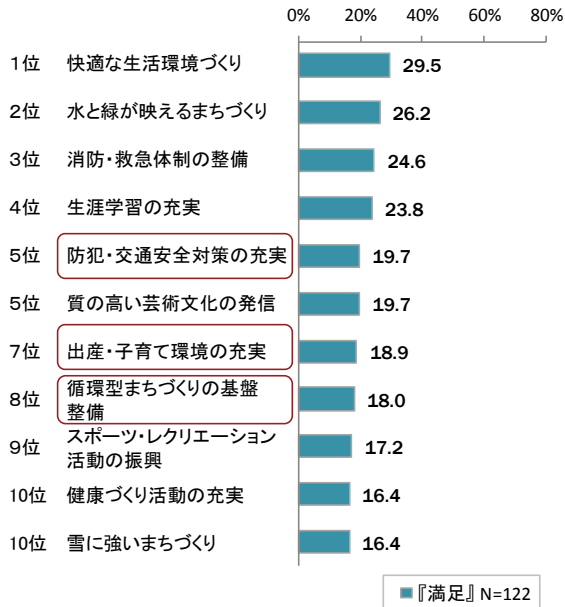
— 『満足』 —

— 『不満』 —

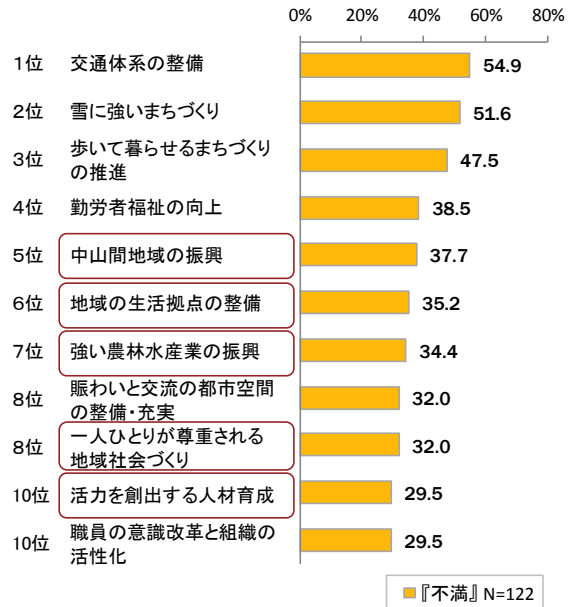


八尾地域

— 『満足』 —

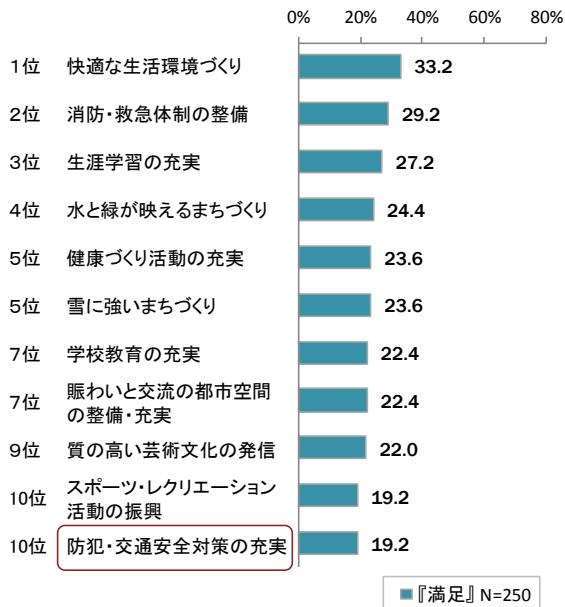


— 『不満』 —

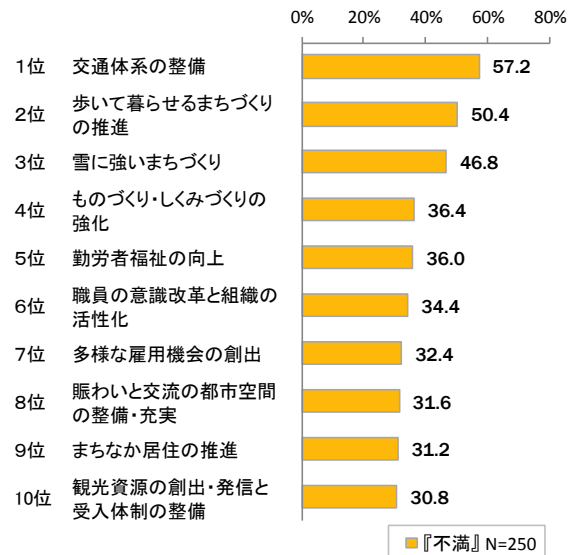


婦中地域

— 『満足』 —



— 『不満』 —

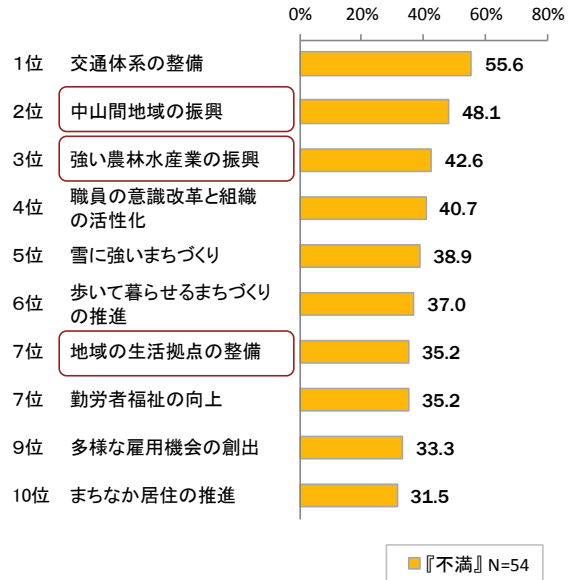
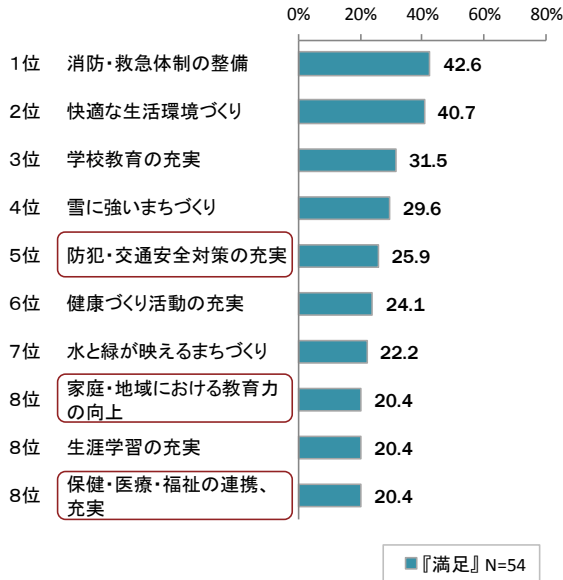


全体の10位以内に含まれないもの

山田地域

— 『満足』 —

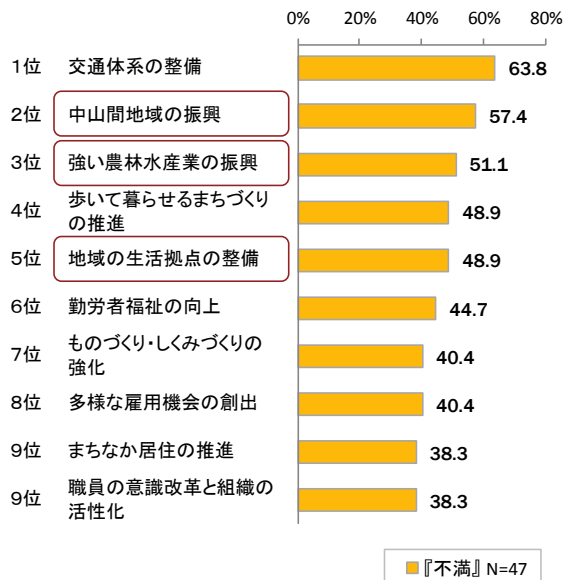
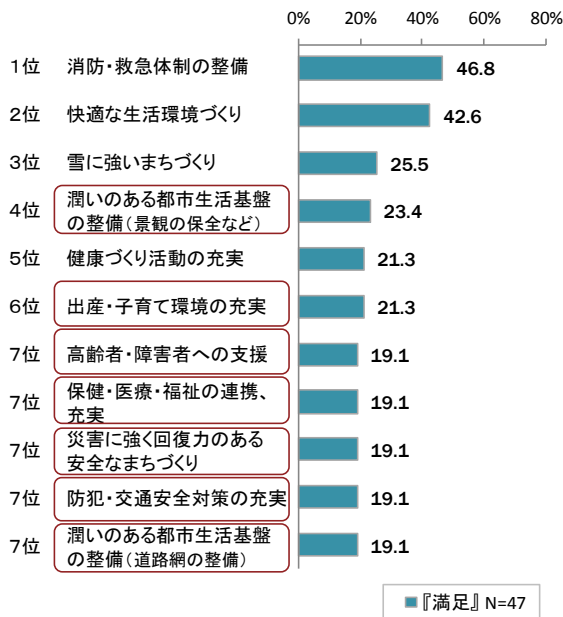
— 『不満』 —



細入地域

— 『満足』 —

— 『不満』 —



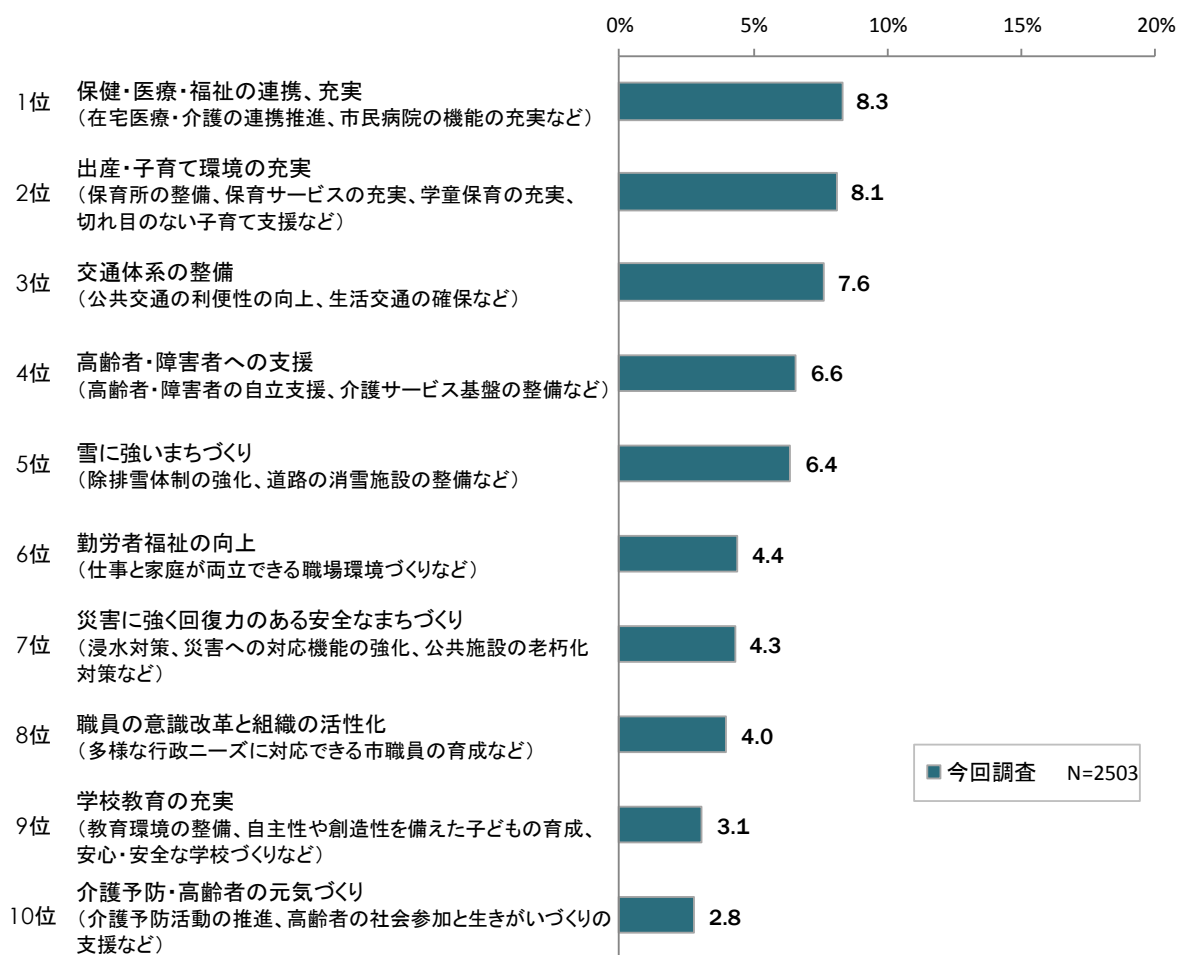
4 今後のまちづくりの重点

第2次富山市総合計画の51の施策のうち、最も重点的に取り組むべきであると思うものを、1つだけ選んで回答いただきました。そのうち、10位以内の項目は次のとおりです。

●「保健・医療・福祉」「出産・子育て」を最重視

「保健・医療・福祉の連携、充実」を挙げる割合が最も高く、次いで「出産・子育て環境の充実」「交通体系の整備」が挙がっています。さらに「高齢者・障害者への支援」「雪に強いまちづくり」が挙げられており、福祉と交通利便性を重点的に取り組むべきと考えられていることがうかがえます。

【最も重点的に取り組むべきと思うもの：10位以内＜全体＞】



5 市民の普段の取り組み

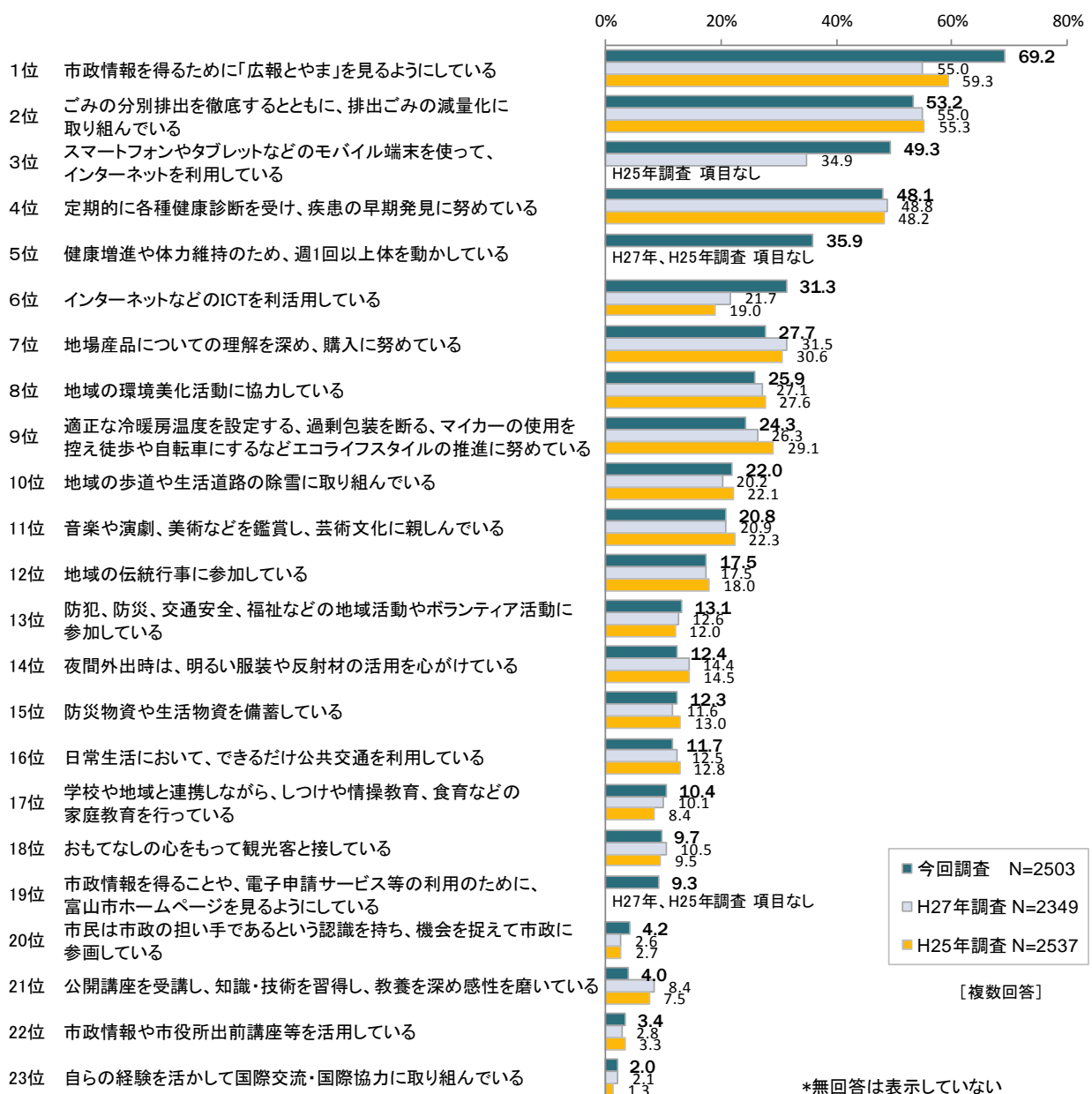
市民の皆様が普段から行っている取り組みについて 23 項目の中から選んで回答いただきました。その順位は次のとおりです。

●半数以上が「広報とやま」で市政情報を得ている

上位 4 項目は、平成 27 年調査から引き続き同一の取り組みが挙げられており、「市政情報を得るために「広報とやま」を見るようにしている」割合が最も高くなっています。

「スマートフォンやタブレットなどのモバイル端末を使って、インターネットを利用している」は平成 27 年調査より 14.4 ポイント増え順位を上げています。また、「インターネットなどの ICT を利活用している」も 9.6 ポイント増えており、日常生活の中にインターネットの利用が一層浸透していることがうかがえます。

【普段から行っている取り組み<全体・経年変化>】



6 富山市の印象

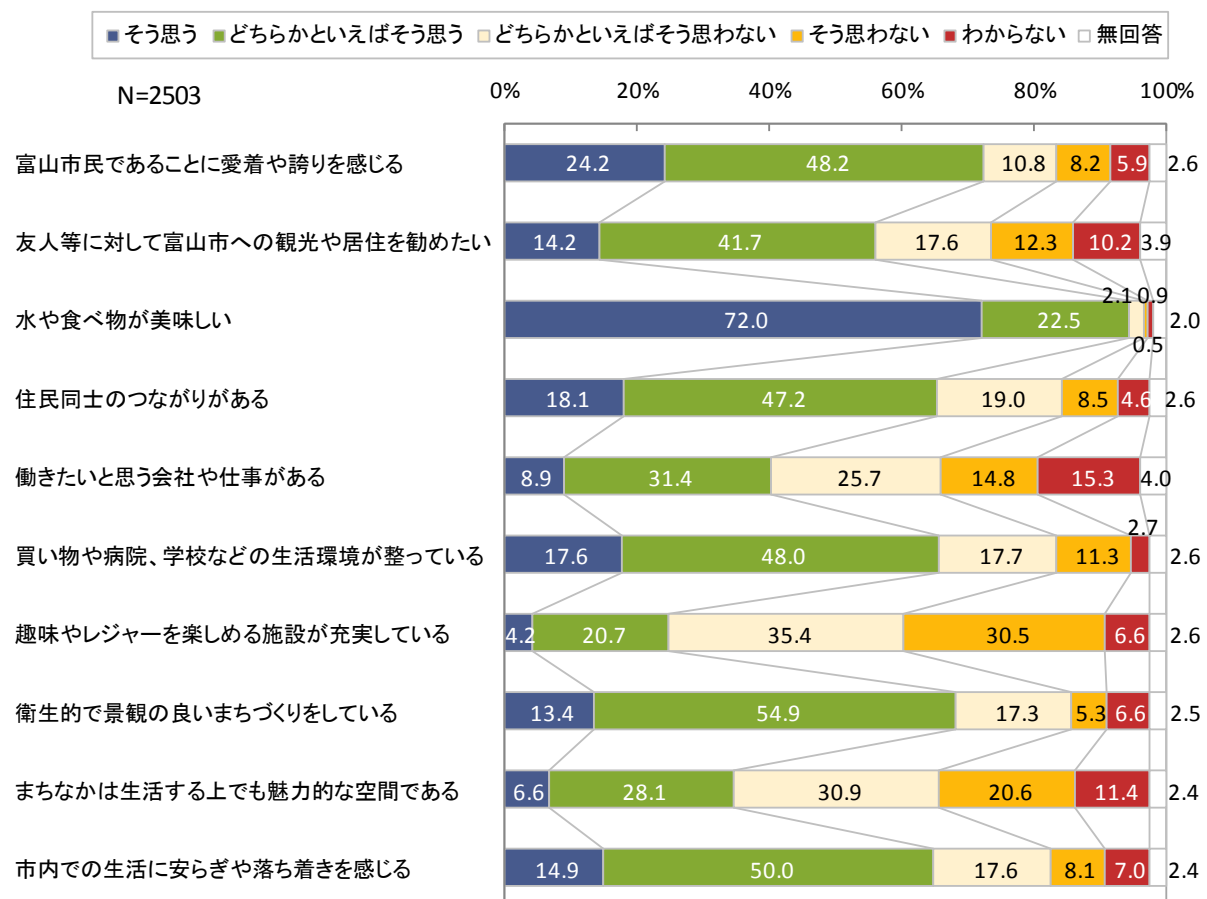
市民の皆様が抱えている富山市の印象を10項目について回答いただきました。

●「水や食べ物の美味しさ」が顕著

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせると、「水や食べ物が美味しい」との印象を持っている人は、全体の9割を超えています。また、全体の7割前後の人が「富山市民であることに愛着や誇りを感じる」「住民同士のつながりがある」「買い物や病院、学校などの生活環境が整っている」「衛生的で景観の良いまちづくりをしている」「市内での生活に安らぎや落ち着きを感じる」という印象を持っています。

一方で、「趣味やレジャーを楽しめる施設が充実している」や「まちなかは生活する上でも魅力的な空間である」については、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を合わせると、全体の半数以上を占めています。

【富山市の印象】



7 あなたの生活

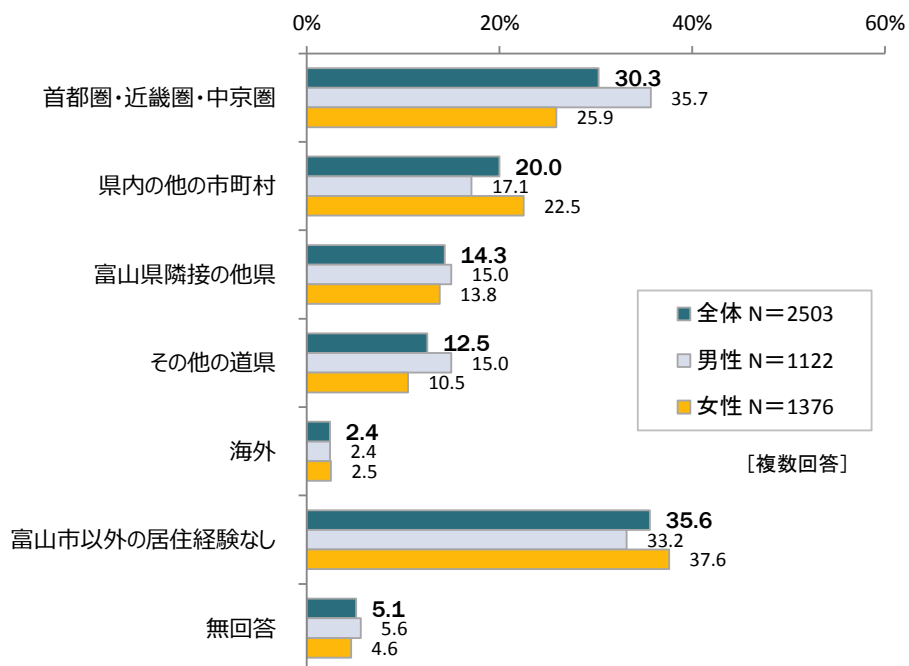
富山市以外での居住経験や、その経験をふまえた富山市の住み良さについて回答いただきました。

①富山市以外での居住経験

●3大都市圏での居住経験者が多い

富山市以外の居住について、3割の人が「首都圏・近畿圏・中京圏」での居住経験があると回答しています。

【 富山市以外の居住経験＜性別＞ 】

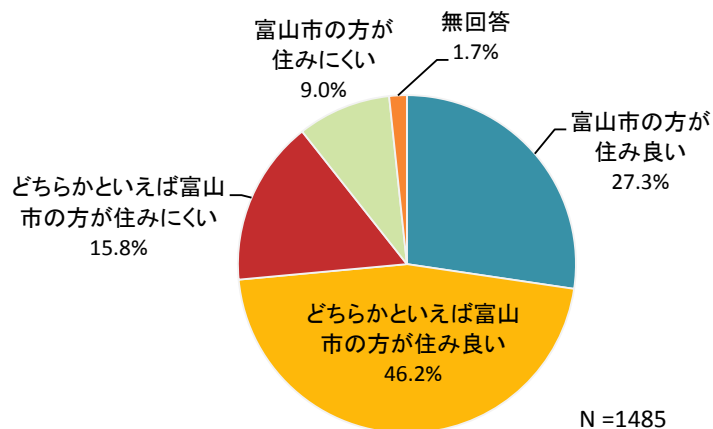


②富山市の住み心地（富山市以外の居住経験がある人を対象）

●富山市以外での居住経験がある人の7割以上が「富山市の方が住み良い」と回答

富山市以外での居住経験がある人は、「富山市の方が住み良い」、「どちらかといえば富山市の方が住み良い」を合わせ、7割以上の人々が『富山市の方が住み良い』と感じています。

【 住み良さの比較 】



●富山市以外での居住経験がある人の富山市に対する印象

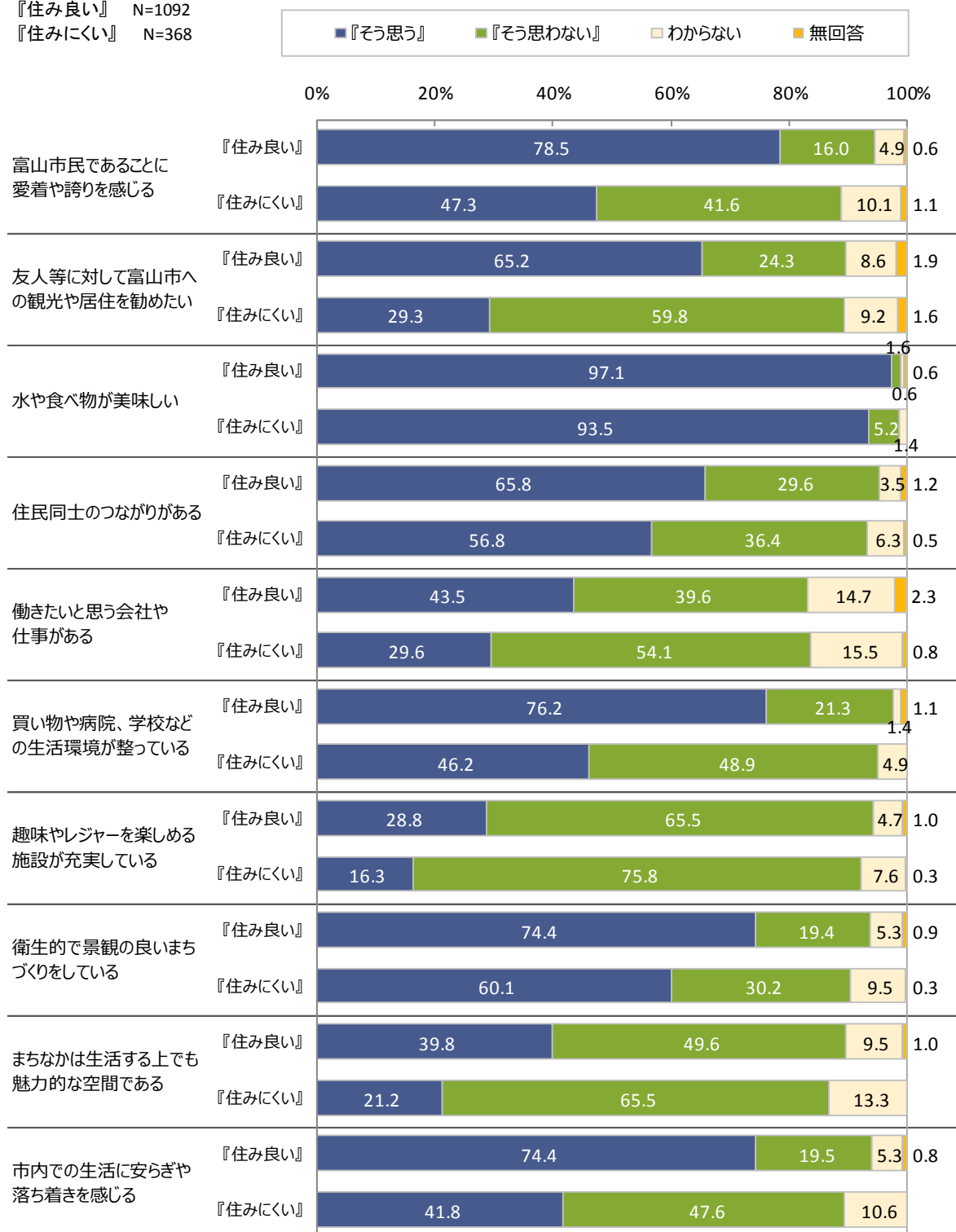
「富山市の方が住み良い」または「どちらかといえば富山市の方が住み良い」と回答した人を『富山市の方が住み良い』と考えるグループとし、「富山市の方が住みにくい」または「どちらかといえば富山市の方が住みにくい」と回答した人を『富山市の方が住みにくい』と考えるグループとして、P16で調査した「富山市の印象」との関係について、次ページのとおり比較を行いました。

「水や食べ物がおいしい」「住民同士のつながりがある」という項目については、『富山市の方が住み良い』と考えるグループと『富山市の方が住みにくい』と考えるグループの回答割合にそれほど大きな違いが見られませんでした。一方で、「富山市民であることに愛着や誇りを感じる」「友人等に対して富山市への観光や居住を勧めたい」「買い物や病院、学校などの生活環境が整っている」「市内での生活に安らぎや落ち着きを感じる」については、双方の回答割合に大きな差が見られました。

次のグラフでは、P 16 で「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」とした回答を合わせて『そう思う』とし、「どちらかとい
えはそう思わない」と「そう思わない」とした回答を合わせて『そう思わない』として表示している。また、「富山市の方が
住み良い」と「どちらかといえば富山市の方が住み良い」とした回答を合わせて『住み良い』とし、「富山市の方が住み
にくい」と「どちらかといえば富山市の方が住みにくい」とした回答を合わせて『住みにくい』と表示している。

【 富山市の印象 〈住み良さの比較別〉】

『住み良い』 N=1092
『住みにくい』 N=368



富山市民意識調査結果報告書《概要版》

平成 30 年 12 月 発行

富山市 企画管理部 企画調整課

〒930-8510 富山市新桜町 7 番 38 号

TEL (076) 443-2010 (直通)

FAX (076) 443-2170

調査・分析 一般財団法人 北陸経済研究所

富山市丸の内一丁目 8 番 10 号

TEL (076) 433-1134
